

9. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		-	-	-
(中国)		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	お客様の様子	・目的の物以外にも買っていき客が増えている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・第3週末の台風の影響で売上を大きく落としているものの、気温の低下により婦人紳士衣料が数か月前と比較すると堅調に推移しており、前年からは明らかに客の購買意欲は向上している。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・客単価が上昇している。
		乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・10月の販売量は前年比110%と好調に推移している。
		乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・天候には恵まれていないが、週末の来客数は前年並みであり、全体的には前年の95%で推移している。高額な新車の動きが悪く売上に苦戦している。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・最近の売上が前年を少々上回ってきており、先行きの希望が持てる状況になりつつある。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・地元プロ野球チームの優勝の影響で地元景気は上向いていることに加え、衆議院選挙の結果からの影響も少なく、世の中が落ち着いている。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・最近では家族層の利用も増え、例年に比べて来客数も増加している。天候不順が続いているが、稲刈りも順調なためこの先も来客数の増加が見込まれる。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・秋の観光シーズン到来で来客数が増加している。
		タクシー運転手	単価の動き	・衆議院選挙の影響で客の動きは良くない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・観光シーズンに入りイベントも開催され人の流れが良い。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・スマートフォンサービスの契約数が増加傾向にある。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・今年度の前半と比べて消費者からの耐震やリフォーム等の問い合わせが増えている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・分譲用地や戸建て注文住宅の契約受注が好調に推移している。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・秋に入り客からの問い合わせや来場者が増えており、商談から契約に至る件数が増えてきている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・客が必要以上に購入することが少なく、なるべく最小限の数量を好む傾向が続いている。
		商店街（理事）	販売量の動き	・慢性的な不景気で、客は必要なものしか購入しない傾向である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・春以降地元客の動きが鈍く、購買意欲が低下している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・毎回選挙があるときは相対的に売上確保が難しく、今回の衆議院選挙の期間も客の消費意欲があまり感じられない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・商品を値下げしても客の買い控えが目につく。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	お客様の様子	・大企業関連では新会社設立用の印鑑注文があるが、中小企業はそれほどない。
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	来客数の動き	・地元の買い回り客の流れは悪くない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・売上が獲得できそうな日に天候不順が重なり、来客数の減少で売上の減少が顕著である。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・化粧品、婦人服飾は引き続き好調で、その他は前年を下回る部門が多い。催事が好調で前年を上回る月があっても維持することが難しい状況である。全体では今月も前年を下回る見込み。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・月初めから月半ばまで前年の数字をクリアして冬物商材も動いていたが、その後雨と台風の影響で客足が止まっている。プレミアムフライデーにイベントなどの企画はするが、売上はそれほど伸びない。	
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・今月に入り婦人服と紳士服の数字が悪くなっている。寒暖の差や台風の影響などで、ジャケットやコートなどの動きが悪く、ニットやパンツなどの単品購入が増えており、客単価が低下している。	

百貨店（売場担当）	お客様の様子	・前年同月には地元プロ野球チーム25年ぶりの優勝セールで買物疲れで、客は低単価なものしか購入しない雰囲気であったが、本年はそうした様子はなく、冷え込みも1週間早いことから冬物衣料が順調に動いている。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・美術品や時計、宝飾などの高額商品の売上が好調であるとともに、急激な気温の低下でコートなど婦人服の動きも良いが、生活雑貨や食料品は前月よりも低調である。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月は衆議院選挙と自治体の市長選挙が2週続けてあることに加えて台風の影響もあり、客の購買意欲が低下し来店機会が減って厳しい結果となった。もともと潜在的な商圈客数が多くない地域なので、良い客である主婦層が選挙の手伝いなどで来店することが難しい状況が影響している。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数と客単価に変化はない。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客が必要なもののみ購入する傾向が続き、販売点数の伸びが見られない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・毎週末の悪天候等で来客数が減り、売上が伸びていない。
スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・買上点数は少し伸びているが、客1人当たりの来店頻度が落ちている。スーパーに行くとき余分なもので買ってしまうからできるだけ行かないようにしているとの声も聞き、節約志向が定着し状況は厳しい。
スーパー（財務担当）	来客数の動き	・雨天の影響による来客数の前年割れと、野菜1品単価の前年比での大幅な下落により、既存店の売上が前年を下回っている。
スーパー（管理担当）	来客数の動き	・依然として来客数の増加は見られず、客単価にも変動がないため変化はない。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・衆議院選挙の期日前投票に行き、その足で店に寄る客が多く、売上が伸びている。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・前年同月に比べて売上が102%、来客数が96%である。客単価を上げるために品ぞろえを増やしているが、来客数が増えないと売上は伸びない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・伸びていた来客数の伸びが鈍化してきている。
コンビニ（支店長）	来客数の動き	・直近で非常に厳しい状況にあり、今後もそれが継続しそうである。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・景気が良い実感が全く湧かず、周囲からもそうした話を聞かない。
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・販売数と売上が前年をクリアできず、むしろ下げ止まる気配がない。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・10月半ばの大きなイベントで来客数は増加しているが、販売量増加につながらない。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・台風等の影響があったとはいえ、特に土日の来客数が1割は減少している。業界が縮小傾向にあるのも影響しているが、それにしても少ない状況である。
家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・季節的に好調となる要因がない。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・特に大きな変化はない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・今月客単価が高くなっているが来客数は変わらず、景気が上向き見込みはない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・3か月前同様に有力ブランド店退店跡は催事対応の状況で、アミューズメントで集客を図っているが陳腐化しており、計画どおりの集客につながっていない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・施設への来客数は前年と比べて大きな差がない状態であるが、週末の天候不順が大きく影響している。高価格帯の商材への購買意欲は低いものの、低価格帯の買上は伸びている。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・地元プロ野球チームの優勝関連フェアで前年と同じくらいの売上になっている。
スナック（経営者）	来客数の動き	・株価が上昇しても当業界の景気は一向に良くならない。地方の中小企業の景気が回復しない限り現状のままである。

	都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・忘年会など酒を飲むシーズンになるので来客数が増加する。
	都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・先行予約は前年並みでスタートしたものの、衆議院選挙の影響もあり月内の伸びが弱含みである。また、台風の影響によるキャンセルが発生したことも影響している。
	都市型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・足元の売上は宿泊、レストラン、婚礼が前年と比較して減少しているものの、一般宴会では前年同様の規模を維持している。
	旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・客の様子からは景気回復していないが、衆議院選挙も終わり株価も上昇していることから、回復の可能性はある。
	旅行代理店(営 業担当)	販売量の動き	・繁忙期ではあるが、前年度実績と比較しても大きな増減がない。
	通信会社(企画 担当)	お客様の様子	・客の関心度の高まりや購買の動きで、格安スマートフォンや光卸が底堅く推移している。
	通信会社(総務 担当)	それ以外	・通信業界では特段大きな変動要素が見当たらない。
	テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・前年同月比で入館者数や商品販売高などが微減で推移している。
	ゴルフ場(営業 担当)	お客様の様子	・予約状況は良いが、天候に左右され来場者数が減少している。
	美容室(経営 者)	販売量の動き	・客の財布のひもは固く、商品の売上が良くない。
	設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・客は消費税の税率引上げを意識しながら少し足踏み状態であるが、購入の意識は上昇してきている。
	設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・長年取引をしてきた酒屋が10月末で廃業するとの挨拶があり、歴史があっても地方で成り立つ商売がなくなってきた。
	一般小売店 [茶](経営 者)	販売量の動き	・前月は前年比でほぼ100%の売上であるが、国内販売は低下し海外輸出が増加している構図である。
	百貨店(売場担 当)	販売量の動き	・100万円以下の美術品は売れるが、それ以上の美術品や宝飾品は売れない。
	百貨店(人事担 当)	来客数の動き	・台風など悪天候が続いたことも客足を遠ざけた要因の1つである一方、客が必要なものだけを買ってくる傾向がより顕著になっている。
	スーパー(店 長)	来客数の動き	・前月まで前年の96%であった来客数が今月は95%に落ち込み、販売点数も98%で推移している。
	スーパー(販売 担当)	来客数の動き	・平日の来客数にはここ数か月間ほとんど変動がないものの、今月に限れば週末に台風や雨の影響を受けることが多く、全体の集客を大幅に下げる結果になっている。
	コンビニ(エリ ア担当)	競争相手の様子	・競合店ができて客が分散している。
	コンビニ(副地 域ブロック長)	来客数の動き	・台風などによる天候不順が続き、朝夕及び週末の郊外からの来客数が減少している。また、地元プロ野球チームの日本シリーズ進出がなくなり、前年より試合数が減少したため、市内の店舗では来客数の前年割れが起こっている。
	家電量販店(企 画担当)	来客数の動き	・来客数と売上が前年の90%を下回っている。
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・新車受注台数が低迷したまま回復していない。他県の系列ディーラーも軒並み前年割れを起こしており、市場の冷え込みが厳しい。
	乗用車販売店 (営業担当)	お客様の様子	・来客数が減少し成約率が低下している。
	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・買換えの話に客は乗り気にならず、新規客も増えない。
	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・月曜日から土曜日まで客足はほとんどなく、売上も良くない。
	その他専門店 [布地](経営 者)	お客様の様子	・衆議院選挙と台風の影響で客は買物をする気持ちにならず、来客数が減少し客単価も低い。
	その他専門店 [土産物](店 長)	来客数の動き	・10月は週末に重ねて大型台風が来たこともあって、月の半分が雨となり、天候に影響を受けやすい立地であることも影響し、来客数が一気に減少している。さらに、衆議院選挙も悪条件として影響している。例年ならば観光客やサービス関係者が多く来店するため繁忙期に当たるが、今年は前年比85%程度で推移している。

	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・当月の売上が大きく低下しているわけでないが、台風、衆議院選挙、地元プロ野球チームの勝敗など客足に影響する要因が多く、若干の低下傾向にある。地元プロ野球チームに関しては、試合後に立ち寄り客もあり良い影響もあるが、試合中はほとんど来店が止まる傾向にある。また、台風に関しては、予約キャンセルの理由とした客も数組ある。	
	一般レストラン (外食事業担当)	お客様の様子	・客単価は前年の106～107%で推移している。来客数は前年の100%をクリアしているが、飲み会が減少しているため週末と休前日の来客数が前年数値を割り込んでいる。	
	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・秋の行楽シーズンとなりスポーツ文化イベントなどが多い時期であるが、台風や衆議院選挙の影響でレストランの客足が鈍いことに加え、婚礼などの問い合わせも減っており、宴会場の稼働にも影響している。株価上昇の恩恵は今のところ見られない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・天候不順や衆議院選挙の影響で夜の動きはかなり悪く、タクシーの利用頻度が低い。	
	通信会社(広報担当)	お客様の様子	・客は安価なものを求めているが、当社の他の営業地域と比較してもこの状況は顕著であり、客は料金が安ければ特にスペックが落ちて良いとする状況である。	
	通信会社(販売企画担当)	販売量の動き	・来店誘因が難しくなっている。	
	通信会社(工事担当)	お客様の様子	・客から聞くところでは、あまり設備投資ができない状況である。	
	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・台風の接近や週末の天候不順で来客数が減っている。	
	テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・2回の台風を含めて週末に天候が悪かったため、前年より入園者数が減少している。	
	競艇場(職員)	販売量の動き	・3か月前の7月初旬に売上が良かったレースがあったので、その月と比較すれば良くないが、通常並みの販売量である。	
	美容室(経営者)	来客数の動き	・人がこちらに流れてこない状況で、来客数が減少して売上が悪い。	
	×	商店街(代表者)	単価の動き	・秋物需要が高まる時期であるが、客の購買意欲は低いままである。
	×	その他飲食 [サービスエリア内レストラン](店長)	来客数の動き	・サービスエリア沿いの交通量が減少し、冬季閑散期に入るため景気が悪くなっている。
	×	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・戸建て住宅の引き合いは減少していたが、リフォームや事業物件の引き合いも止まっている。
企業 動向 関連	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・製造を行っている自動車部品の出荷先である地元大手自動車メーカーが、現在繁忙状況となっている。	
(中国)	化学工業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・中国の自動車向けアルミニウム生産の増加等により苛性ソーダの需要が増加しており、国内メーカー各社も輸出が好調で品不足感もあったため、製品の値上げを打ち出していたが、国内需要も旺盛なため主要取引先も値上げに応じてくれており、ほぼ決着してきている。	
	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・第2四半期決算では販売量が伸びている製品が多く、売上の増加により営業収益も向上している。	
	窯業・土石製品 製造業(総務経 理担当)	受注量や販売量の動き	・大型案件の生産も本格化していることに加えて、通常生産も鉄鋼業向けが好調なため、時間外勤務だけでは対応できず、交代勤務での対応をしている。	
	鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・10月に入り建設分野以外で活動水準が向上しており、薄板のコイルセンターは忙しくなっている。また、鋼材市況も上昇傾向にある。	
	電気機械器具製 造業(総務担 当)	受注量や販売量の動き	・前年に比べ引き続き引き合いや受注が好調である。	
	輸送用機械器具 製造業(経営企 画担当)	受注量や販売量の動き	・主要客の新製品販売が好調で、客の完成品生産拠点は1工場生産から2工場生産体制となっている。	
	建設業(総務担当)	取引先の様子	・受注の引き合いが増えてきている。	
	輸送業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・鋼材関連の荷動きが堅調になってきている。倉庫案件も堅調で全体的に上向いている。	

	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・系列完成車メーカーの新型SUVの販売好調により、地元部品メーカーの受注生産は月2回程度の土曜操業が常態化するほど高水準を維持している。
	金融業（貸付担当）	受注量や販売量の動き	・乗用車の新車販売台数やドラッグストアの販売額が増加している。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・客から販売促進拡大で広告受注量が増加している状況であり、販売量も上向きに推移している。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・素材商品の受注量が減少し、関連性のある商品に移行している。販売量は減少しているが、販売額は微増である。
	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・値上げの影響が懸念材料であるが、定番商品のリニューアルの成果が少しずつ出始めている。
	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・現時点では受注量や販売量に大きな変化はなく、市況も安定している。
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・電子機器向け、産業機器向け、工具鋼向け合金材料共に受注は高位で安定している。
	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子部品関係の受注が旺盛になっている。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月からの状況に変化はなく、技術職の稼働率や予定物件の受注が順調に推移している。
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・地元プロ野球チームの優勝の余波での発送数の増加が続いているが、衆議院選挙の影響で企業の出し控えも見受けられる。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・客からの受注量に変化はない。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・取引先で来期の予算取りの計画を行っているが、情報通信に関する大幅な見直しや設備投資の案件が、前年度と比較して減少している。
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信市場では新たなトレンドの商材もなく、受注額、受注量ともいつもどおりに推移しており、特別な需要もないため景気の良さや上向き感はない。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・今月は衆議院選挙があり、建設業関連は公共事業の発注が一休みの状態であるため、売上高は例年に比べてやや低い水準に留まっている。その反面で、小売サービス業は前月と比べて落ち込みは少なく同程度の水準を保っている。
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工作機械業界の得意先の受注量は増えているが、小型機の増加が主要因であるため、当社への発注となる大型機械は前年と同水準であり横ばい状態である。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・来年度以降本格化する物量の減少は既に始まっており、原材料費もここ数年で最高水準となり、足元の損益は悪化し始めている。
	その他製造業 [スポーツ用品]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内販売商品は販売状況があまり思わしくないが、生産拠点の移動が頻繁であるため見通しがつきにくい。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数や成約件数がやや悪くなっている。
	x	-	-
雇用関連 (中国)		-	-
	人材派遣会社（支社長）	雇用形態の様子	・パートタイム求人の増加により、今まで紹介できなかった求職者に対して仕事を紹介できマッチングが進んでいる。
	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・地方でも職業紹介による年収ベースが少し上昇してきている。良い人材を採用しようとするれば良い給与を用意する企業の意識の高まりが見受けられる。また、同様に人材派遣の時給も上昇してきている。
	求人情報誌制作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人が増加するとともにインターンシップを実施する企業も増加している。
	民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・この3か月間転職希望者数が右肩下がりで減少してきている。景気が芳しくない時期には右肩上がりになることからすると、景気の良さが見受けられる。
	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・企業の採用意欲は高く求職者不足は継続している。

	求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・新卒採用は9月末を目途にほぼ終了し、来年度卒採用の準備に入る企業が多数見受けられる。企業は人手不足感もあり採用意欲は例年より更に高めだが、学生を獲得するため業界研究会への参加やインターンシップの受け入れなど、採用手法を工夫し活動に当たっている。求人数を大きく増やすというより、求人数を増やした前年からさほど変わらず、手法を駆使して採用活動を積極的に行う企業が増えている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率はやや低下したものの、高水準であることに変わりない。人手不足も建設業などでは一服感もあるが、医療、福祉、介護関係のメーカーや機械製造業ではまだまだ解消には程遠い状況にある。ただ個人消費は堅調に推移し、企業側も省力化や効率化が進んでいる。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は受注が好調な食料品製造など製造業の需要が高いことに加え、飲食店で新規オープンに伴うスタッフ募集が複数店舗あるなど大口求人もあったことから、求人全体では前年同月比で1割増となっている。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・3か月前と比較して新規求職者数が13%増加しているが、9月は求職者が増える傾向なので例年どおりの動きである。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・当所の有効求人数は前年に特定の事業所からの大量求人があった特殊要因から、前年比で2か月連続のマイナスとなっている。ただ、その要因を除けば増加となるため、総じて景気は変わらない。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・求人は増えているが求職者の動きが鈍い。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人はあるが新規求人ではなく求職者不足によるものである。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・企業からの求人数には特に大きな変動がない。
	-	-	-
x	-	-	-